

図書館だより

NO. 160 2011年 7月号
(2011年7月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

8月1日リニューアルオープン 宮島水族館みやじマリン

みなさんが、待ちに待っていました宮島水族館「みやじマリン」がいよいよ8月1日に、リニューアルオープンを向かえます。

去る3月26日開催のペンギン講座ではつかいち市民図書館にやって来た、ペンギンのヒナタ君(3才)、ミント君(3才)も新しいお家で皆さんを待っています。

人気者のスナメリさんや新しく展示されるカキの養殖、タチウオさんも皆さんに会えるのを楽しみにしているそうです。

図書館にも水族館に関する本、海の生き物に関する本がたくさんありますどうぞご利用ください。

また、夏休み期間中は、図書館の返却期限票のイラストに宮島水族館のマスコットキャラクターが登場します。



今月の展示

<さくらびあ展示> 『hawaii ハワイ』

廿日市商工会議所とコナ・コハラ商工会議所の姉妹提携5周年を記念して、伝統文化の交流が実現! 7月30日(土) 31日(日)には、ハワイ島コナから本場のフラがやってきます。美術ギャラリーでは7月27日(水)~31(日)の間、ハワイ島コナ美術作品展が開催されます。

<中央展示> 『この本おもしろいよ』 夏休みに読んでみたい本

夏休みに本を読んでみたいけど、どんな本を読んだらいいのかわからない。そんな小・中学生にお勧めする本を小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けに分けてリストとともに展示しています。この夏、たくさんある本のなかからお気に入りの1冊をみつけましょう!

<テーマ展示> 『水族館と海の生き物』 宮島水族館リニューアルオープン記念!

8月1日は宮島水族館リニューアルオープンです。水族館に関する本や海の生き物に関する本を集めて展示しています。宮島水族館の人気者スナメリやペンギンについて図書館で調べてから出かけてみてはいかがでしょうか?

予約待ちが多い資料ランキング

現在、たくさんの予約が入っており、お待ちいただく期間が長くなっている資料です。

下記の資料の中で、読み終えて不要になった方がいらっしやいましたら、寄贈をお願いいたします。

1位『謎解きはディナーのあとで』…145人

東川篤哉 著 小学館 Fヒ

2位『麒麟の翼』…114人

東野圭吾 著 講談社 Fヒ

3位『県庁おもてなし課』…100人

有川浩 著 角川書店 Fア

4位『夜行観覧車』…98人

湊かなえ 著 双葉社 Fミ

5位『もし高校野球の女子マネージャーがドラッグ ガールの「マネジメント」を読んだら』…84人

岩崎夏海 著 ダイヤモンド社 Fイ

6位『小暮写真館』…81人

宮部みゆき 著 講談社 Fミ

7位『KAGEROU』…78人

齋藤智裕 著 ポプラ社 Fサ

8位『プラチナデータ』…76人

東野圭吾 著 幻冬舎 Fヒ

9位『真夏の方程式』…73人

東野圭吾 著 文芸春秋 Fヒ

10位『1Q84 BOOK1』…71人

村上春樹 著 新潮社 Fム

『往復書簡』…71人

湊かなえ 著 幻冬舎 Fミ

ヤングアダルト新刊情報

ヤングアダルトって？

子どもから大人へ、成長していく時期にある12～18歳くらいの若者たちのことを表した言葉です。ヤングコーナーに入った本の新刊を毎月紹介します。

『世界一やさしい精神科の本』

斎藤環・山登敬之/著 河出書房新社 493サ

自閉症だけど「とんでもなくできる」才能を秘めた人たち、日本にひきこもりが多い理由、若い世代がかかるニュータイプのうつ病など、新たな事実もふまえた現代の精神医学について、とてもやさしく解説されています。症状や治療法だけでなく、精神科にかかるときの予備知識や、精神科の仕事に興味を持った若者たちへのメッセージも込められています。

『千年の森をこえて』

キャシー・アップルト著 片岡しのぶ訳

デイビッド・スモール絵 933ア

木々は千年に1度くらい、自分たちだけが知っている魔法を呼びだして使うことがある…。テキサス州の東部にある深い森に1匹の捨て猫が迷い込み、千年もの時の流れにうもれていた物語が動き始める。捨て猫が産んだ2匹の子猫とアメリカ先住民族の伝説が織りなす不思議な物語。2009年ニューベリー賞銀賞受賞作。

2011年6月25日現在

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『仕事はすべてポスト・イットで片付く!』 嶋ひろゆき/著 かんき出版 002.7/シ

『広島学』 岩中祥史/著 新潮社 B302.1/イ

『もう限界!!介護費用を<1円でも安くしたい>ときに読む本』 高室成幸/監修 自由国民社 369.2/ト

『発達障害のある子が楽しめるあんしんあそび』 木村常雄/著 佐々木正美/監修 すばる舎 368/キ

『赤ちゃんとお母さんのための妊娠中のごはん』 野口真紀/著 池田書店 498.5/リ

『人生がときめく片づけの魔法』 近藤麻理/著 サンマーク出版 597.5/コ

『まさこおばちゃんの新新聞エコバッグ』 坂上政子/著 小学館 754.9/サ

『日本男児』 長友佑都/著 ポプラ社 783.4/チ

『金子みすゞがうたう心のふるさと』 上山大峻/著 自照社出版 911.5/カ

『絆回廊』 大沢在昌/著 光文社 F/オ

『三人の二代目』上・下 堺屋太一/著 講談社 F/サ

『アンダルシア』 真保裕一/著 講談社 F/シ

『真夏の方程式』 東野圭吾/著 文芸春秋 F/ヒ



新刊

こどものほん



『土の色って、どんな色?』

栗田宏一 福音館書店 407/ワ

土の色といえば、茶色を思い浮かべるでしょう。しかし実際には日本各地で、白・黄・桃・黒など様々な土の色を、見ることができます。例えば関東平野の畑の土の色は黒っぽく、関西は白っぽいなど、地域による違いもあります。色鮮やかな土と、採取した場所を、写真で紹介しています。

『土手をかけおりよう!』

あんずゆき/作 早川司寿乃/画 文研出版 913/ア

愛犬のララが死んだ、私のせいで。小4の真希はある日、ララが死んだ河川敷で、カヤネズミを研究するサヨさんと出会う。一緒にカヤネズミを観察するうちに、自分の好きなこと・好きな人・好きな場所を見つけ、元気になっていく真希。新しい経験が壁を乗り越える力になる、そんな希望を感じる一冊。

『あたまをなくしたおとこ』

クルル・H・ビショップ/ぶん 01・ト・マッコウキ-/え

もりうちすみこ/やく 瑞雲舎 E/ア

ある朝、男が目を覚ますと頭がありません。頭のかわりに畑のカボチャやにんじんをかぶってみますが、しっくりきません。次に丸太に鼻や目を作り、帽子をかぶってみるとぴったりです。そこで昨日訪れたお祭り会場へ出かけると、賢そうな男の子に声をかけられて…。1942年アメリカ出版の初翻訳、奇想天外な物語です。

『「けんぼう」のおはなし』

井上ひさし・原案 武田美穂絵 講談社 E/イ

2010年4月に亡くなられた作家の井上ひさしさんが小学生に向かって「日本国憲法」について実際に話したことをもとにして、作られた絵本です。ご自身の戦争の体験を織り交ぜながら、憲法の大切さを子どもにもわかりやすいように説明しています。

その他の新刊



『七たび孟獲をとらえる』『空城の計』三国志絵本 唐亜明文 于大武絵 岩波書店 E/リ

『坂の街のケーブルカーのメイベル』文・絵パ→ヅ ア・リー・バ→ソ 訳秋野翔一郎 童話館 E/ハ

『さがりばな』横塚真己人 講談社 E/ヨ (写真絵本)

親子でふれあい遊びと絵本を楽しみました!

6月4日、18日の両日、平成23年度子どもと本の講座「親子で楽しむ ふれあい遊びと絵本」を、講師に広島女学院ゲーンズ幼稚園園長・菊野秀樹氏を迎え、あいプラザ多目的ホールで開催しました。

幼児とその保護者を対象とした講座は、はつかいち市民図書館では初の開催でしたが、約27組の親子が参加し、子どもと本を結ぶ活動をしている20人のボランティアが見学しました。

まず、ゲームを通して参加者同士がふれあい、緊張がほぐれたところで、実践的な内容へと入ります。

やさしい語りかけとわらべうたのリズムに乗って、お母さん・お父さんの手が子どもの頭をポンと触り、手を撫で、時にはくすぐり…子どもたちの表情が和らぎます。父母に代わりばんこにやってもらう子、兄弟と一緒に楽しむ子、会場内を走る子、皆いきいきとしています。

そして体を動かす遊びでは、お父さんの体を木登りのようによじ登ってみたり、ぶらさがってみたり。また、ロープを使った遊びでは、波に見立てたロープを跳んだり、ロープの上を落ちないように歩いたり、と大人も子どもも一緒になって歓声を上げ、楽しみました。

休憩も忘れてたっぷり動いた後は、絵本と紙芝居の読み聞かせです。おはなしが始まると、自然と子どもたちが引き寄せられて、まるで魔法がかかったかのような様子でした。そして最後の質問タイムでは、子どもたちが手を挙げて、次々に質問や感想を述べるではありませんか!これには大人がビックリしました。

子どもたちの「次はいつですか?」という感想に答えられるよう、今後も活動していきたいと思えます。

講座の中で紹介したわらべうたや遊び

「おせんべやけたかな」「にくやおじさんにくきって」「にゅうめんそうめんひやそうめん」

「うまはとしとし」「なかなかまい」「まほうのつえ」「おおなみこなみ」「ロンドン橋」など。

参考資料

『にほんのわらべうた①~④』福音館書店 376.1/ニ

『2・3歳児のふれあい歌あそび』塩野マリ・編著 ひかりのくに 376.1/ヲ

私たちの大好きな本で、被災地に元気と癒しを届けませんか。 東日本大震災復興支援

ご協力ありがとうございました

廿日市市内図書館 3 館において、被災地に送るための絵本を募集したところ、たくさんの皆さまにご協力をいただきありがとうございました。寄贈していただきました図書については、廿日市市職員が気仙沼市へ災害支援として行ったご縁もあり、気仙沼市図書館に送ります。

気仙沼市図書館は、直接津波の被害を免れたそうですが、約10万冊の図書やCDなどが、床に散乱しました。移動図書館車「おおぞら号」は津波で、積んでいた3000冊の本はほとんどが海水に浸かったそうです。震災後図書館は休館していましたが、3月30日から開館時間を通常より短くして開館し、6月1日より貸出業務を開始しています。

皆さまからご寄贈いただきました図書は、気仙沼市の受け入れ体制ができ次第送ります。



7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4 休館	5	6	7	8	9 ★
10	11 休館	12	13	14	15 ◎	16 ■
17	18	19 休館	20	21	22	23 ★
24	26 休館	26	27	28	29	30
31						

◎ちいさいこのためのおはなし会
【対象】乳幼児
【時間】1回目 11時～
2回目 11時30分～
※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会
【対象】幼児～小学校低学年
【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会
【対象】幼児～
【時間】11時～

